

ライフデータふくおか 2024

# 令和の「飲みスタイル」

低アル・ノンアル市場の今後と  
新たなトレンド

ライフデータふくおか 2024

# 令和の「飲みスタイル」

**第1部 アルコール市場の今**

**第2部 低アル・ノンアルの飲用実態**

**第3部 市場変化の背景要因**

**第4部 新たな市場の可能性**

# コロナ禍を経て生活は大きく変化

おうち時間の増加

内食・中食の増加

非接触型決済手段の  
浸透

新たな生活様式が  
「ニューノーマル」な状態として定着

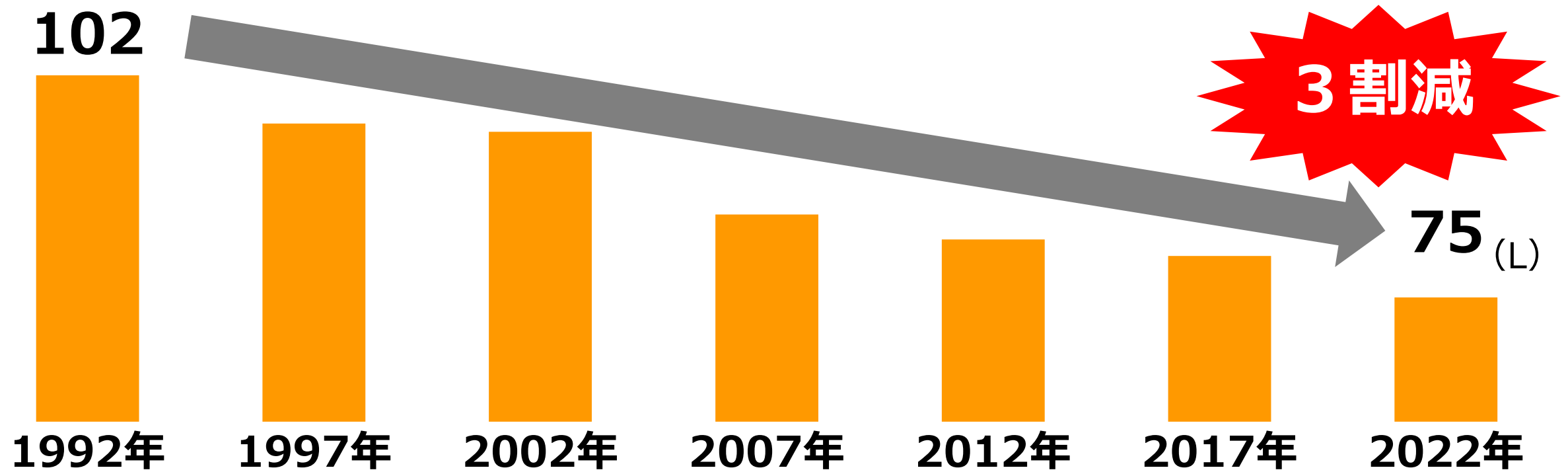
**ライフスタイルの変化によって  
お酒との付き合い方も変わっている？**

**お酒との付き合い方が多様に**

# 第1部 アルコール市場の今

# 一人あたりの年間アルコール消費量の推移

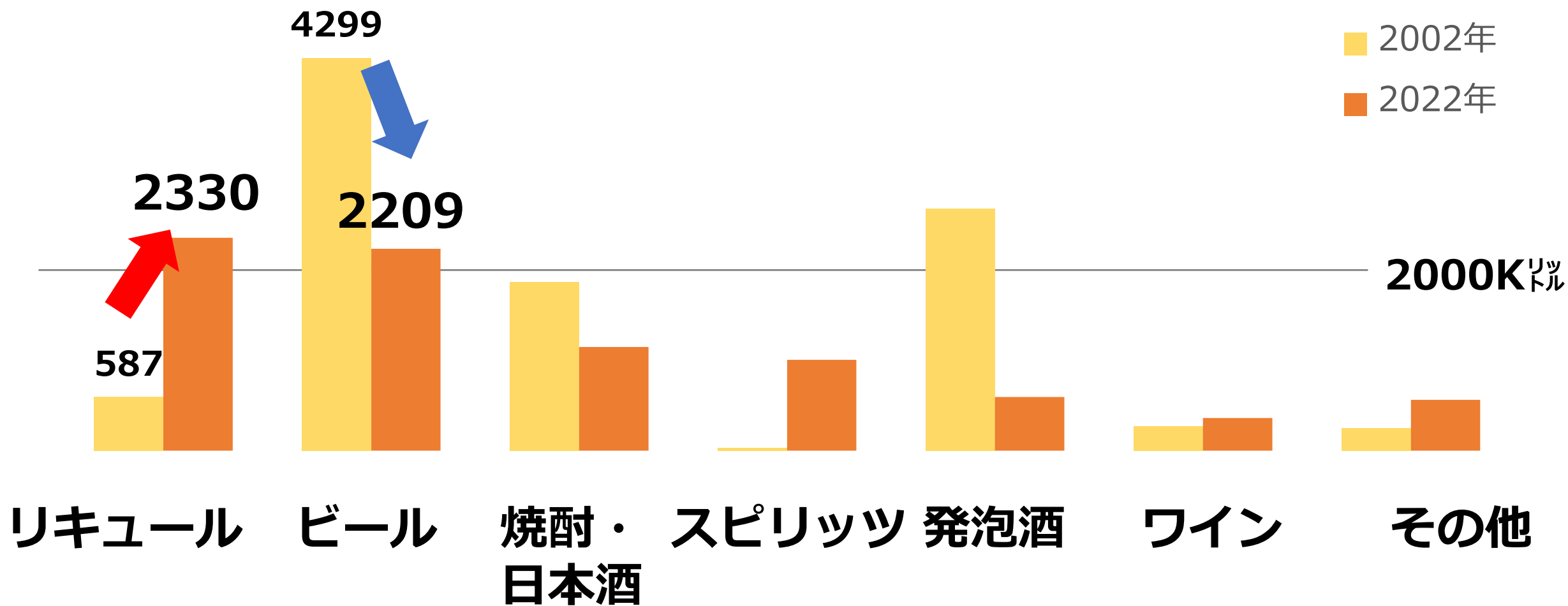
## 92年から減少し続け、ピーク時の74%に



※国税庁課税部「酒のしおり 令和6年6月」

# 酒類別の出荷量

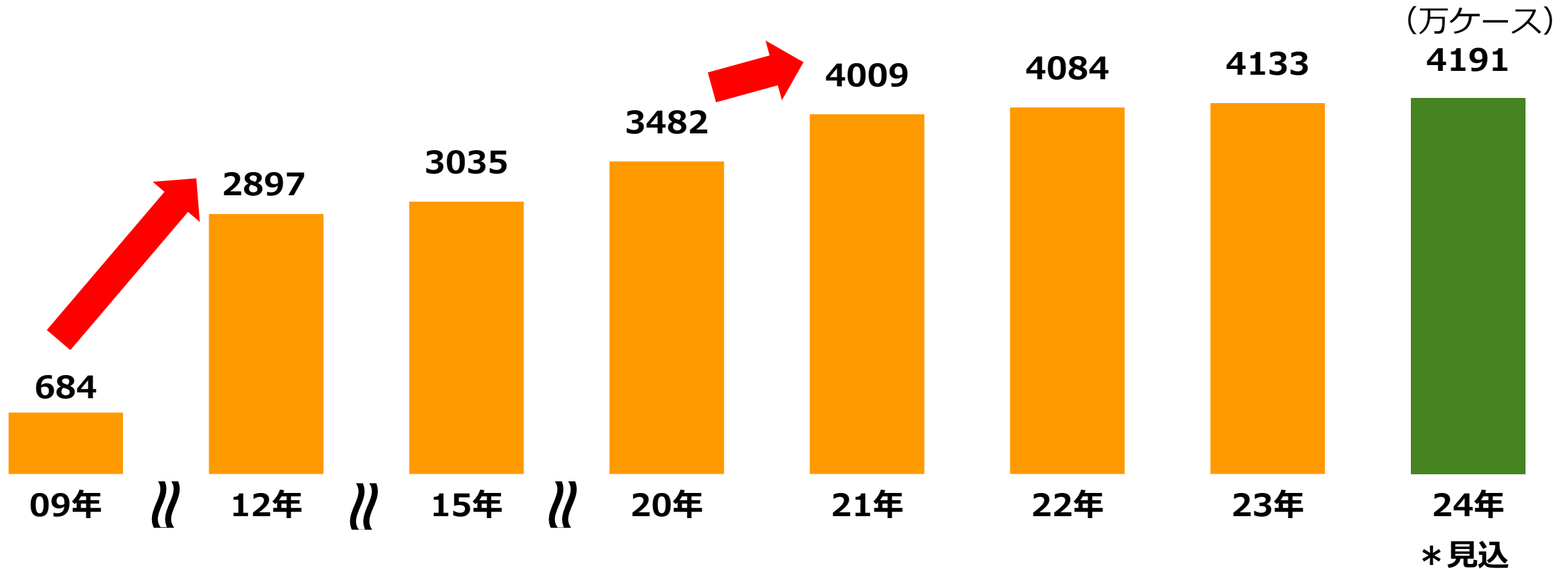
この20年でリキュールは増加、ビールは減少



※国税庁課税部「酒のしおり 令和6年6月」

# ノンアル飲料の販売数量の伸び

## ノンアルは2009年の **6倍** に拡大



※サントリーホールディングス「ノンアルコール飲料レポート2024」にて市場全体を推計した数値

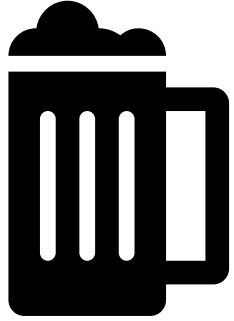


# ソバーキュリアスという 新しいライフスタイルが登場

Sober（しらふ）とCurious(好奇心が強い)を組み合わせた造語  
“あえてお酒を飲まない”という新しいライフスタイル

## 第2部 低アル・ノンアルの飲用実態

# 今回の調査におけるアルコール飲料の分類（ジーコム）



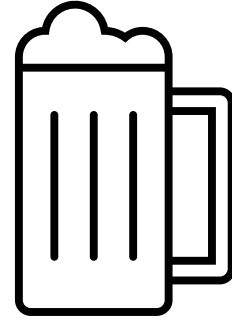
アルコール

1%以上



低アルコール

0.01%～  
1%未満



ノンアルコール

0.00%  
アルコールテイスト

# 調査概要

## インターネット調査

- ・ 福岡県・熊本県・鹿児島県  
広島県・山口県在住の  
20歳～79歳の男女
- ・ 680サンプル

## オンライン グループインタビュー

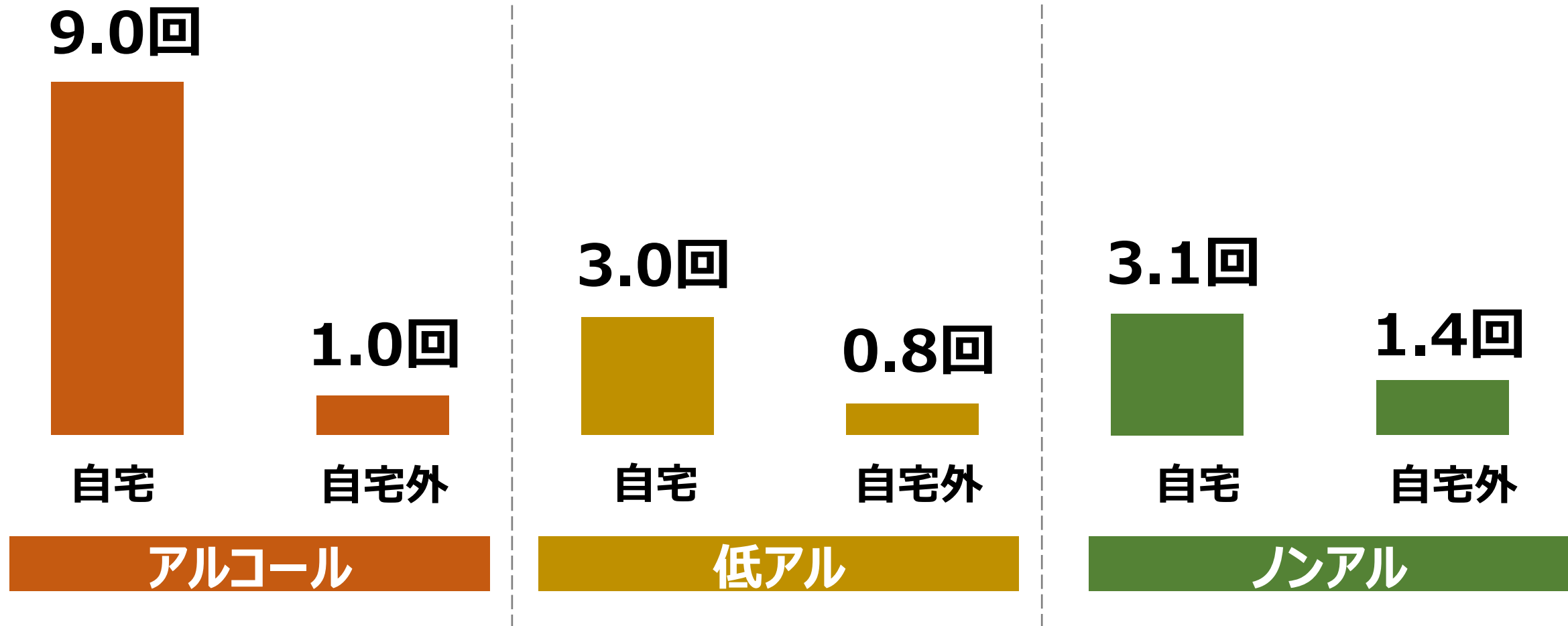
- ・ 福岡・熊本県在住の  
20～40代の男女

- ①男性 低・ノンアルの月1回以上飲用層
- ②女性 低・ノンアルの月1回以上飲用層
- ③女性 低・ノンアルの月1回未満飲用層

- ・ 各5サンプル  
計15サンプル

# 月間の平均飲用回数

## 3 種とも自宅での飲用回数が多い



# 月間の平均飲用回数

年代別

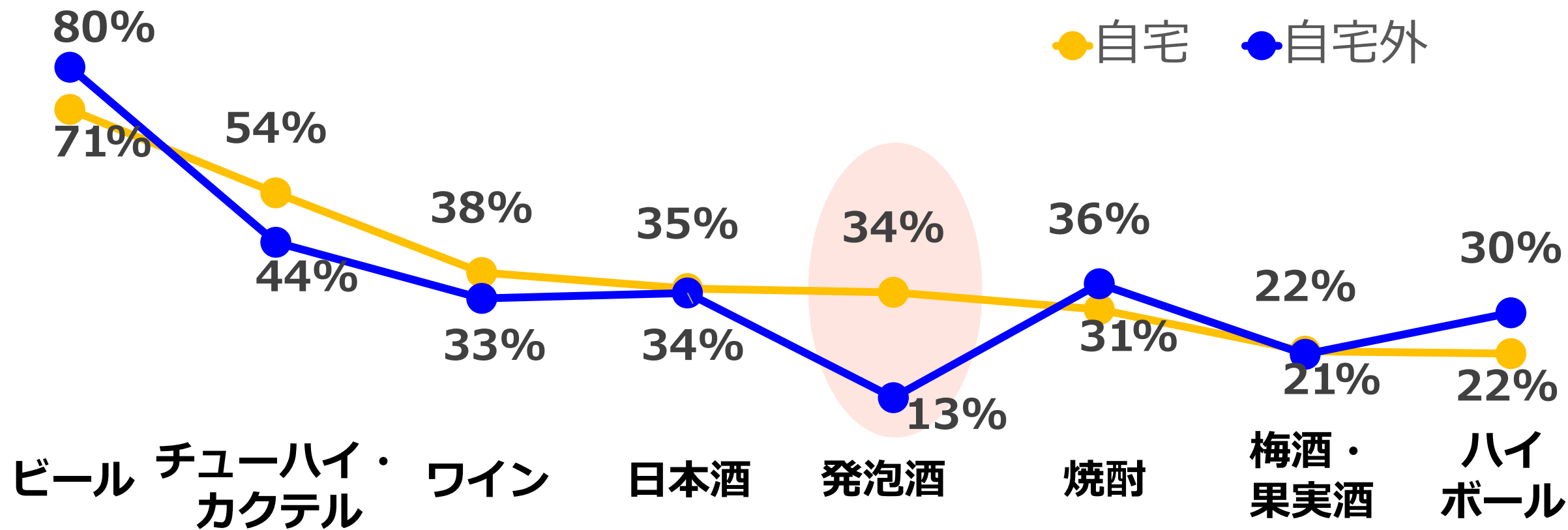
## 低アル・ノンアルは30・40代が中心

(回)

	アルコール		低アル		ノンアル	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
20代	4.6	1.3	2.2	0.7	1.8	1.6
30代	7.6	1.1	4.2	1.2	4.9	2.9
40代	8.6	1.4	3.8	1.4	3.6	1.7
50代	10.1	1.1	2.5	0.4	3.4	1.1
60代	11.0	0.6	2.1	0.2	2.7	0.6
70代	10.8	0.6	3.1	0.3	1.0	0.3

# アルコールの飲用カテゴリ

## 自宅と外で差が大きいのは「発泡酒」



# 40代以下は「チューハイ・カクテル」と「ビール」が同水準

(%)

	ビール	チューハイ・カクテル	ワイン	日本酒	発泡酒	焼酎	梅酒・果実酒
20代	52	54	24	26	8	16	24
30代	60	67	27	19	27	14	19
40代	77	72	39	25	41	20	31
50代	73	56	35	35	42	35	21
60代	77	45	51	46	39	44	22
70代	86	30	47	58	40	49	14

\* 50%以上にイエロー



アルコールの飲用力カテゴリー【自宅外】

年代別

自宅同様、40代以下で「チューハイ」高

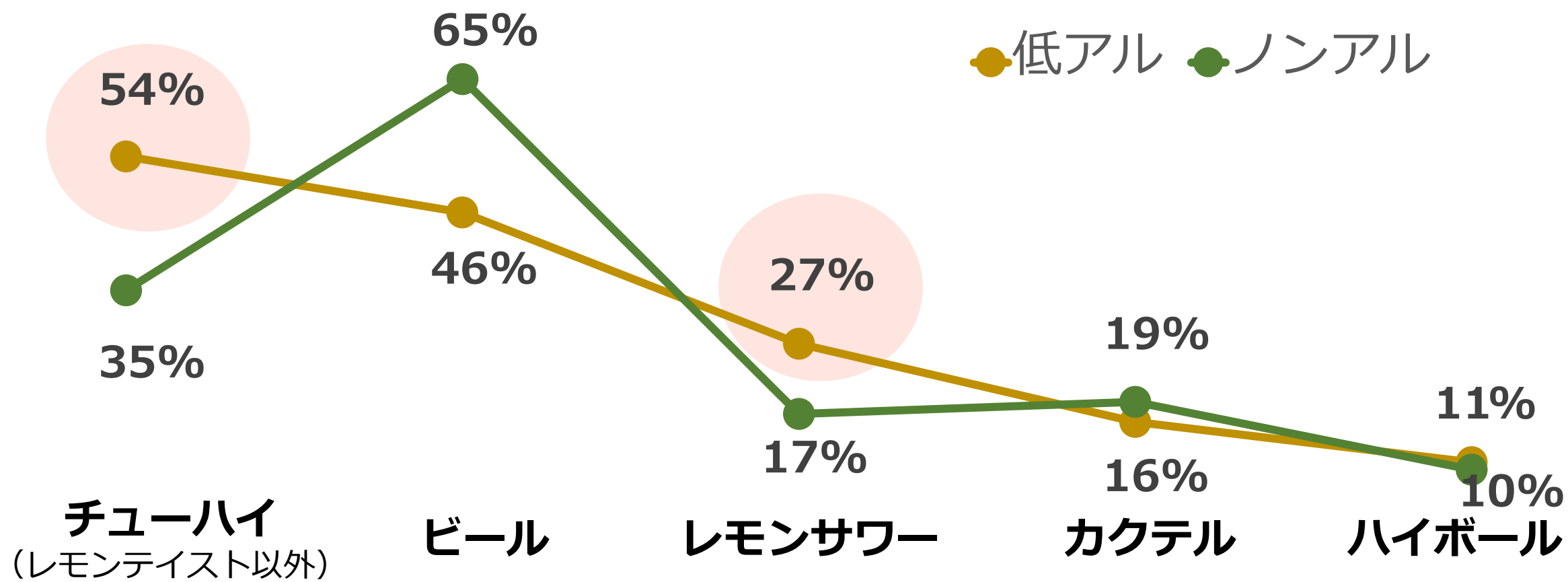
(%)

	ビール	チューハイ・カクテル	焼酎	日本酒	ワイン	ハイボール	ウイスキー・ブランデー
20代	59	57	26	37	28	28	15
30代	63	46	23	23	25	33	17
40代	72	59	31	27	36	31	23
50代	100	43	51	43	40	42	28
60代	90	35	40	26	35	26	25
70代	100	21	43	57	32	11	21

\* 50%以上にイエロー

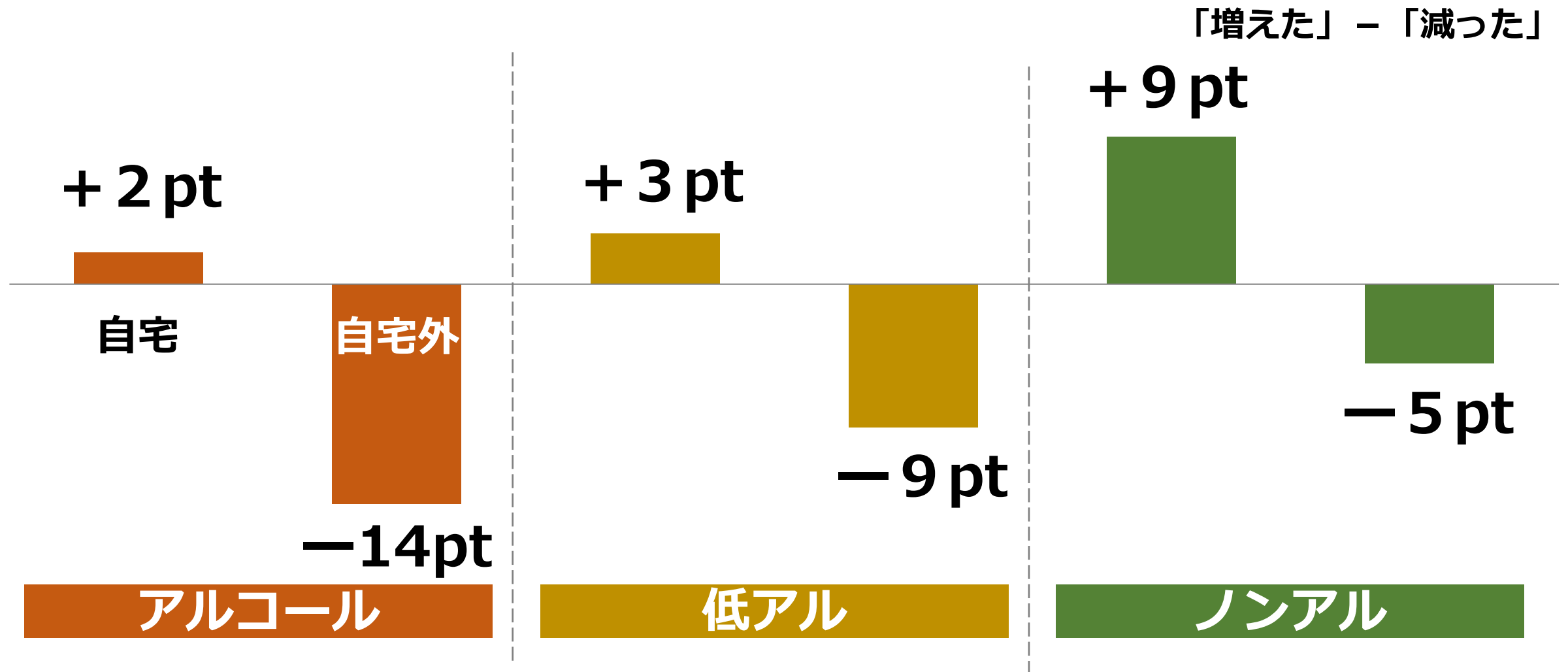
# 低アル・ノンアルの飲用カテゴリー

低アルは「チューハイ」、ノンアルは「ビール」



# コロナ禍前との飲用変化

## 外飲みから家飲みにシフト



# コロナ禍前との飲用変化

年代別

## ノンアルの需要増は30・40代

「増えた」－「減った」（ポイント）

	アルコール		低アル		ノンアル	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
20代	+14	+7	+8	0	-4	-8
30代	+16	-8	+7	-9	+29	-4
40代	+11	-13	+10	-4	+22	+18
50代	-9	-17	+3	-26	+10	-13
60代	-4	-25	-10	-5	-3	-10
70代	-12	-32	0	-25	0	-11

# 第3部 市場変化の背景要因

## 社会の変化

コンプライアンス	インクルーシブ	低価格商品の充実
<ul style="list-style-type: none"><li>● 飲酒運転の罰則強化</li><li>● アルコールハラスメントの周知</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 多様性を尊重</li><li>● 飲まない人・飲めない人も一緒に楽しむ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 酒税法改正</li></ul>

## ライフスタイルの変化

### 健康志向の高まり

- 適正な飲酒量
- 効果・機能性重視

アルコールとの  
付き合い方を見直し

### 生活時間の変化

- 外出頻度の減少
- おうち時間の充実

### 働き方の変化

- 勤務形態の多様化
- リモートワーク

▼  
**自分時間の充実を重視**

# 飲用形態 4 タイプ

アルコール派	アルコール 月 1 回以上 低アル・ノンアル 月 1 回未満	52%
併用派	アルコール 月 1 回以上 低アル・ノンアル 月 1 回以上	
低飲用派	アルコール・低アル・ノンアル いずれか 月 1 回未満	48%
非飲用派	アルコール・低アル・ノンアル いずれも 年 1 回未満	



## 4 タイプのプロフィール特性

### アルコール派

**飲む種類は幅広い**

**男性 6 : 女性 4    50代・60代で 5 割**

### 併用派

**ビールとチューハイ・カクテルの飲用率が高い**

**男女半々    20代～60代で分散**

### 低飲用派

**チューハイ・カクテルの飲用率が高い**

**男女半々    20代・60代が2割強**

### 非飲用派

**アルコール飲料へのイメージが希薄**

**男性 4 : 女性 6    20代・30代・40代 各 2 割**

# 月間の平均飲用回数

低アル・ノンアル飲用の主流は併用派

(回)

	アルコール		低アル		ノンアル	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
アルコール派	12.7	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1
併用派	10.2	1.5	5.1	1.2	5.0	2.5
低飲用派	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1

# コロナ禍前と比べた飲用回数の増減値

## 併用派は3種とも自宅が増加

「増えた」－「減った」(ポイント)

	アルコール		低アル		ノンアル	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
アルコール派	+1	－19	+14	－9	－6	－13
併用派	+10	－9	+8	－9	+15	－2
低飲用派	－15	－14	－19	－8	－10	－11

# 今後の飲用意向

## 最大のけん引層は今後も併用派

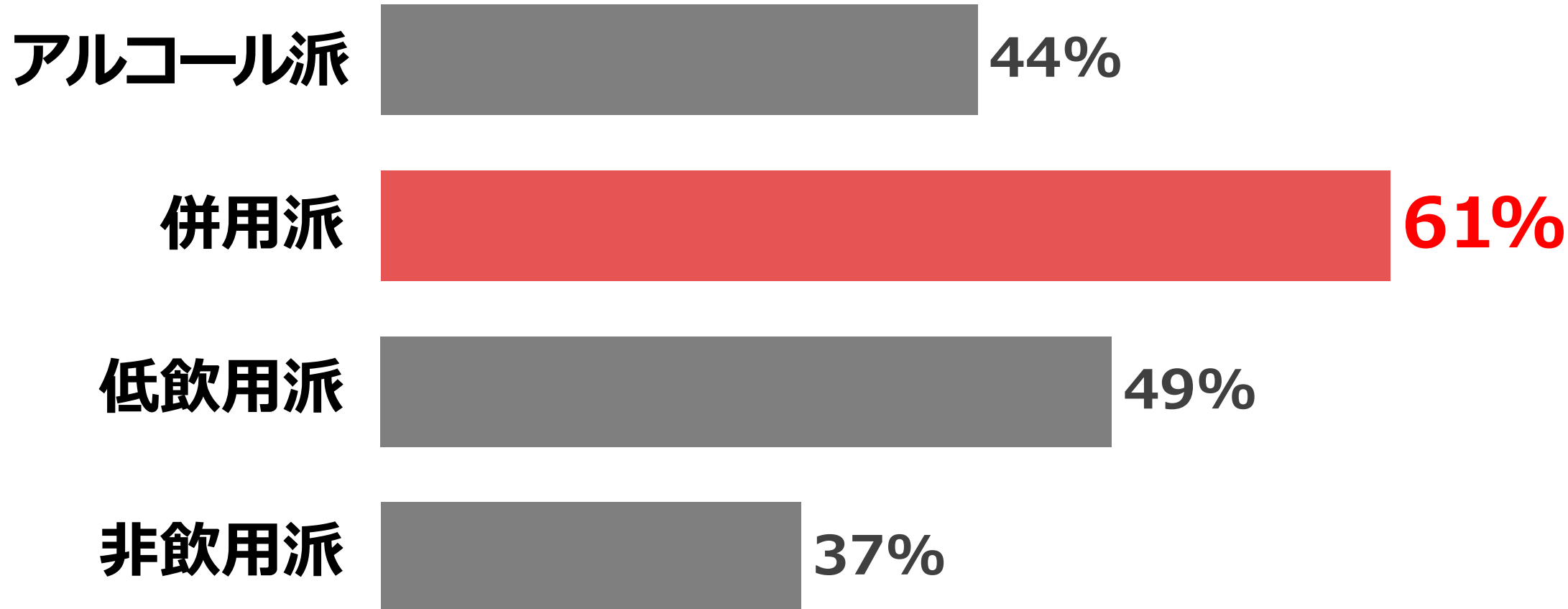
「増えそう」－「減りそう」（ポイント）

	アルコール	低アル	ノンアル
アルコール派	－ 1	－ 2	－ 3
併用派	<b>＋ 2</b>	<b>＋ 4</b>	<b>＋ 7</b>
低飲用派	－ 9	－ 6	－ 3
非飲用派	－ 4	－ 3	－ 2

# ①「健康に気を付けた食事をしている」

肯定率

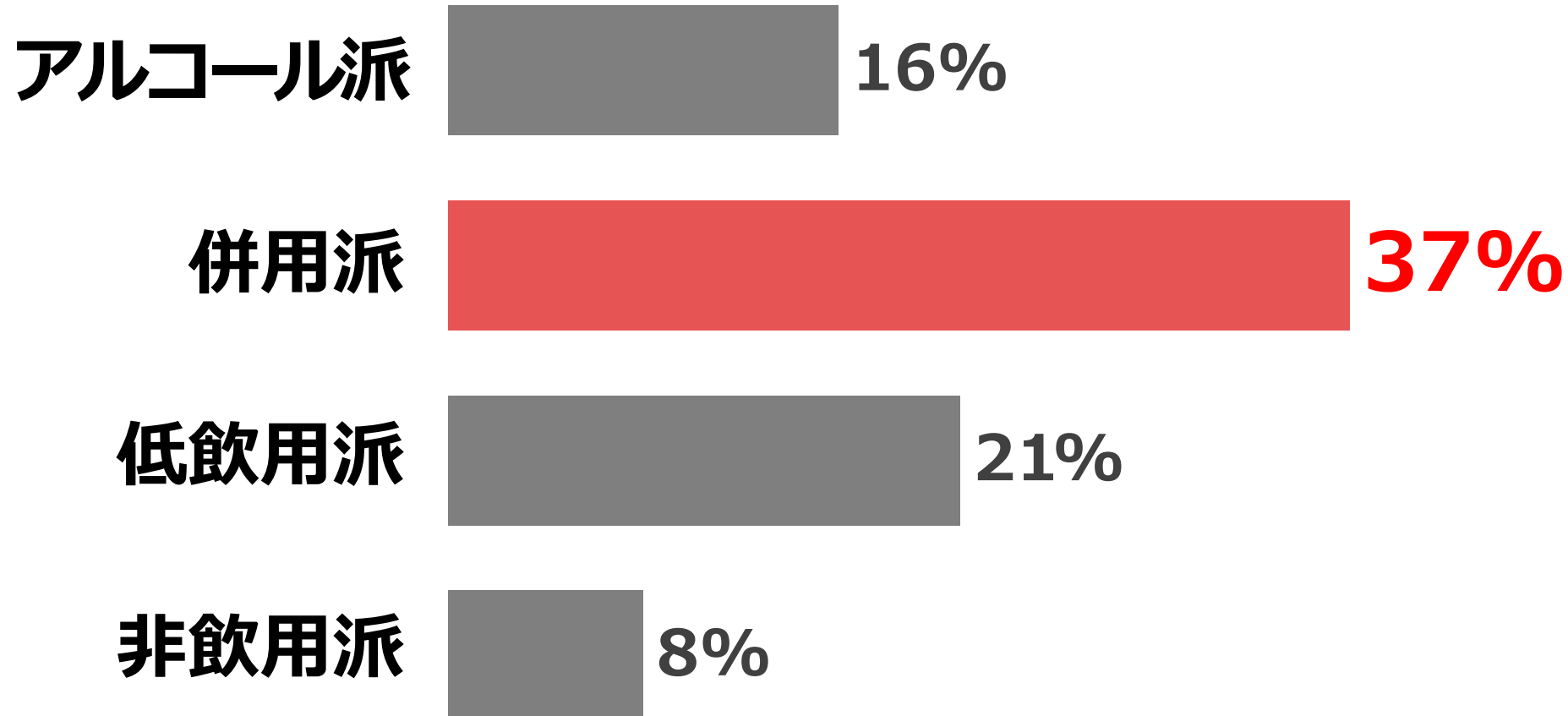
## 併用派は健康意識が高い



## ② 「カロリーオフや糖質ゼロを選ぶ」

肯定率

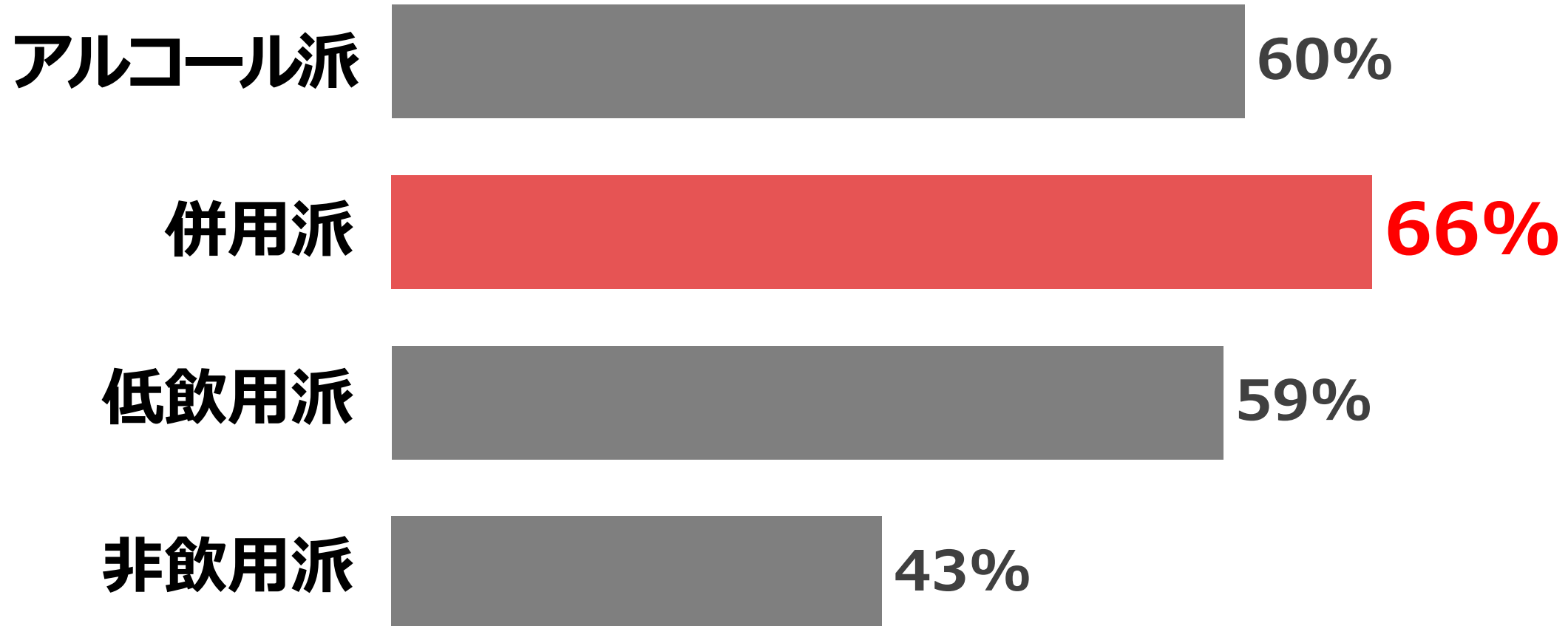
# 併用派はカロリー・糖質オフを重視



### ③ 「食事はゆっくり楽しみたい」

肯定率

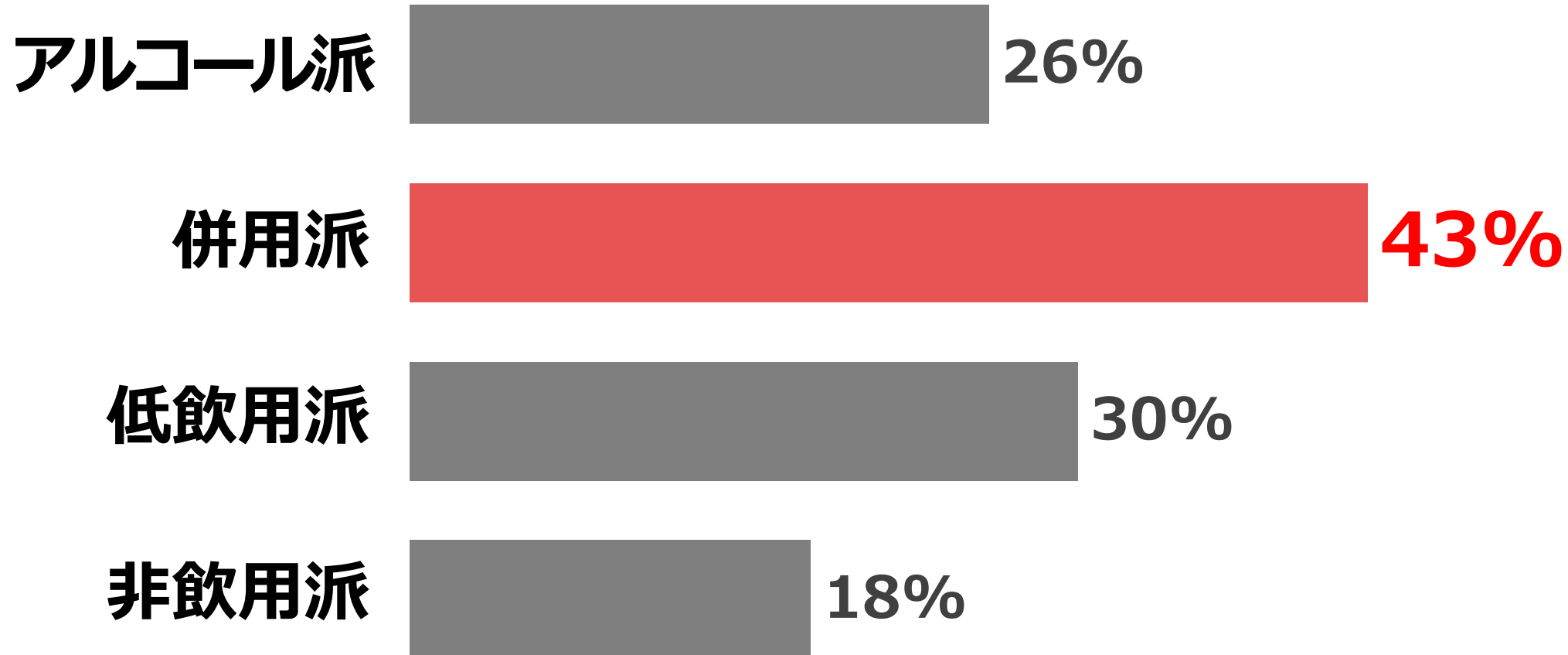
## 食事の楽しみを重視する併用派



## ④「食えることに贅沢をする」

肯定率

### 併用派は食にお金をかける

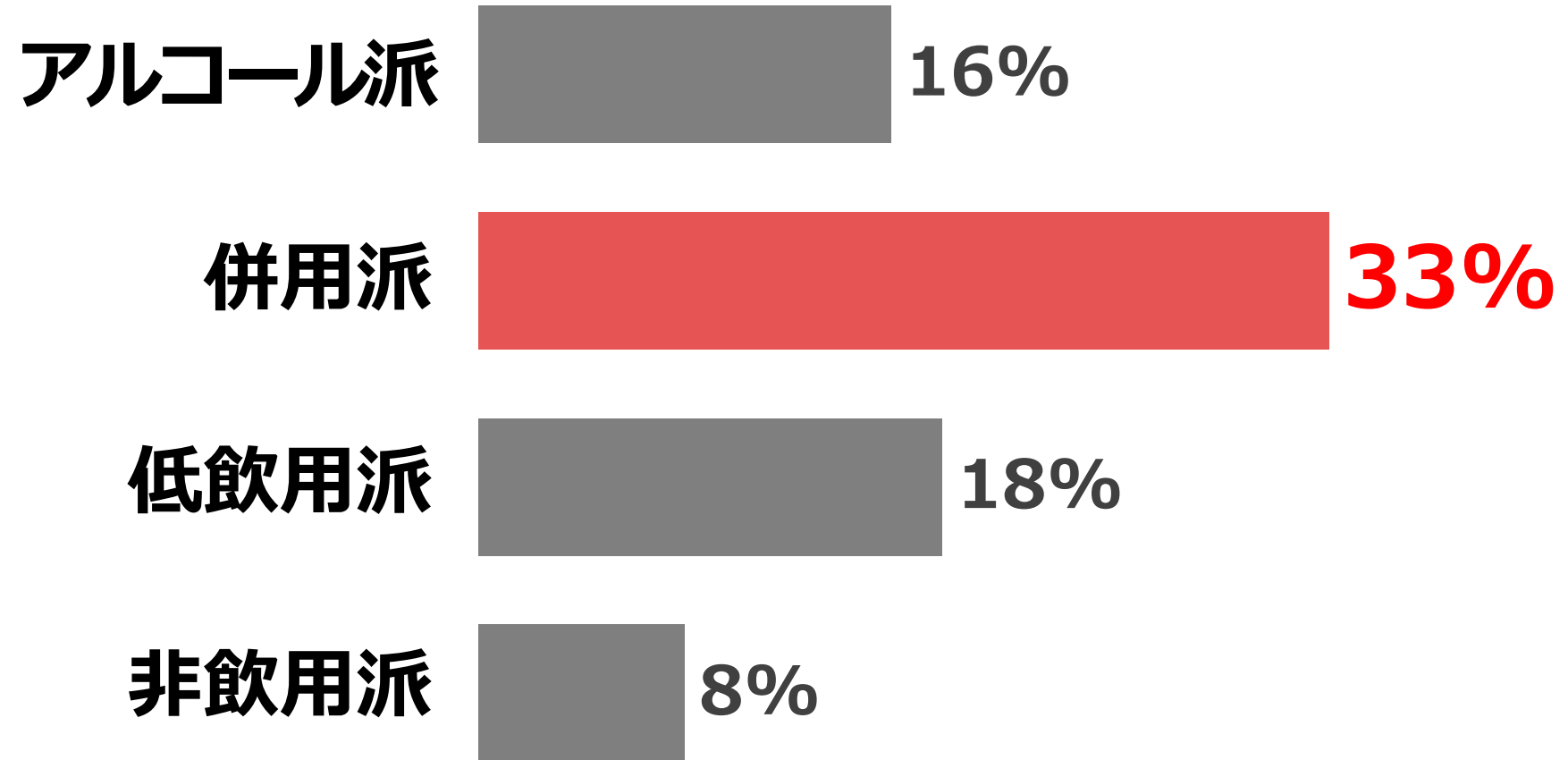




# ⑤ 「新製品や話題の商品に関心があり、購入もする」

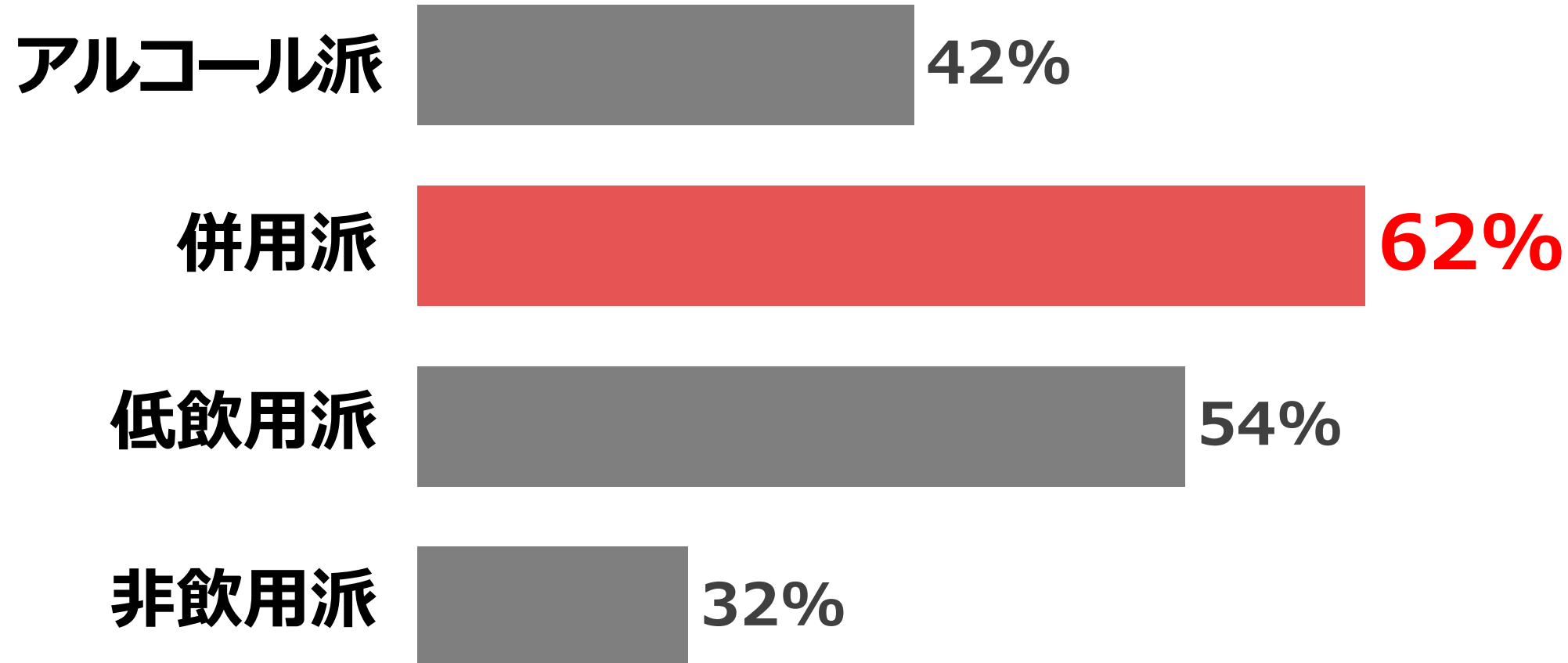
## 併用派は新しいものが好き

肯定率



⑥ 「事前に情報収集し、十分吟味して買う」 **肯定率**

## 検討し、納得して購入する併用派



# 「併用派」の特徴

- ビール、チューハイ・カクテルの飲用率が高い
- 健康意識が高い
- 食のこだわりが強い
- 新しいものの好き
- 情報を吟味して購入する
- 今後も低アル・ノンアルの飲用意向が高い

# 第4部 新たな市場の可能性

# 低アル・ノンアルの飲用ニーズ

## アルコールの代替ニーズ

こちらに  
着目

調査から見えた  
新たなニーズ

# 「飲み（アルコール飲料）」の期待要素

食事を楽しむ

リラックス

ストレス解消

コミュニケーション

の大きく 4 つに分類できる

# 「飲み（アルコール飲料）」に期待すること



お酒は食事とセットで  
楽しくなる。



家飲みはご褒美。  
「自分お疲れさま」  
って感じ。



仕事が終わった区切り、  
リセット。

ご飯を楽しむもの。



自宅ではリラックスや  
疲れを取ることが目的。



爽快感がある。  
帰って1杯目のビールは  
嬉しい。



## 食事を楽しむ、リラックス、ストレス解消を期待

# 低アル・ノンアルの飲用シーン

## 解放感を味わい、コミュニケーションのツールとして飲用

	低アル		ノンアル	
アルコール派	自宅での夕食時	44%	家族との外食	39%
	家族との外食	30%	自宅での夕食時	35%
	休日昼間に自宅で	30%	自宅での夕食後	22%
併用派	自宅での夕食時	44%	自宅での夕食時	36%
	友人知人との外食	26%	家族との外食	24%
	お風呂上り	23%	お風呂上り	21%
低飲用派	自宅での夕食時	29%	自宅での夕食時	29%
	友人知人との外食	27%	仕事関連での外食	18%
	自宅での夕食後	17%	休日昼間に自宅で	14%
			家族との外食	14%
			友人知人との外食	14%
			親戚が集まる時	14%



# 低アル・ノンアルに期待すること



色んな食べ物を食べるのが好きなので、低アルも色んなものを飲んでみたい。

最近はノンアルコールワインを置いているお店も増えてきた。



飲めなくても、飲んだ気分になれるのでいい。



見た目もアルコールに近いと嬉しい。  
気分もあがる。

イタリアンやフレンチでノンアルのペアリングができるようになれば、飲む人と一緒に気兼ねなく飲める。



食事に合う、お酒の雰囲気味わう、場の雰囲気、  
を重要視

# 「飲み会」とは



普段話したことがない人  
とも話しやすくなる。

お酒は友達との  
飲み会の潤滑油。



飲み会は人間関係を  
深める。本音や普段  
話せないことが話せる。

お酒はその人の本音が  
見える。



食事に合う、お酒の雰囲気味わう、場の雰囲気、  
を重要視

# 「飲み会」とは



体質的に飲めるけど、そこまで飲みたいと思わない。  
仕事や友人でも相手に合わせて飲む時、  
飲まない時がある。

飲む人しかいない飲み会は、正直言って億劫。



**コミュニケーションは大事ではあるものの、  
場の雰囲気壊さないよう、飲む人、飲まない人が  
それぞれに気を遣い合っている**

「仲間との関わりを大切にしたい」

肯定率

## 併用派は仲間を大切にする

アルコール派

50%

併用派

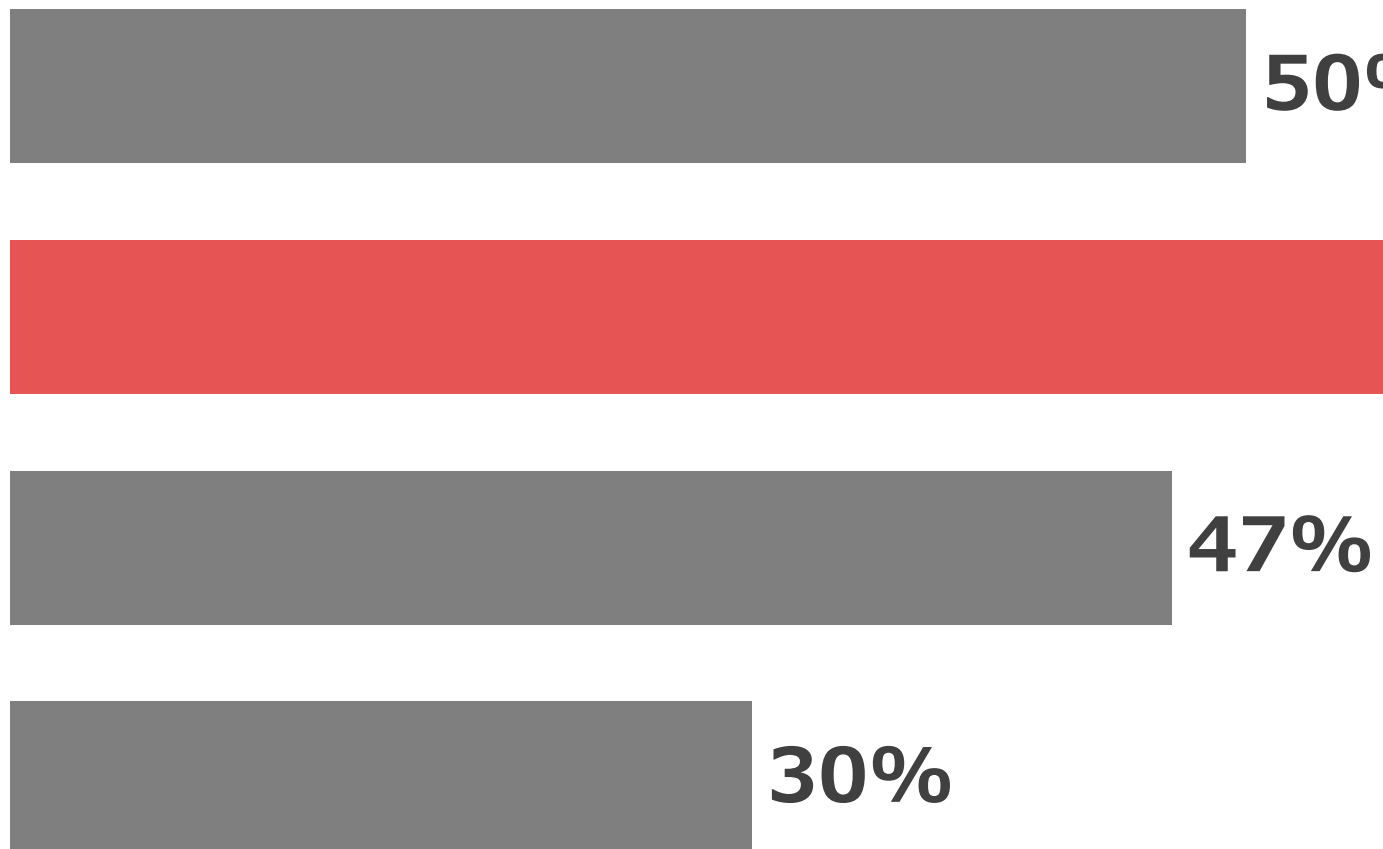
56%

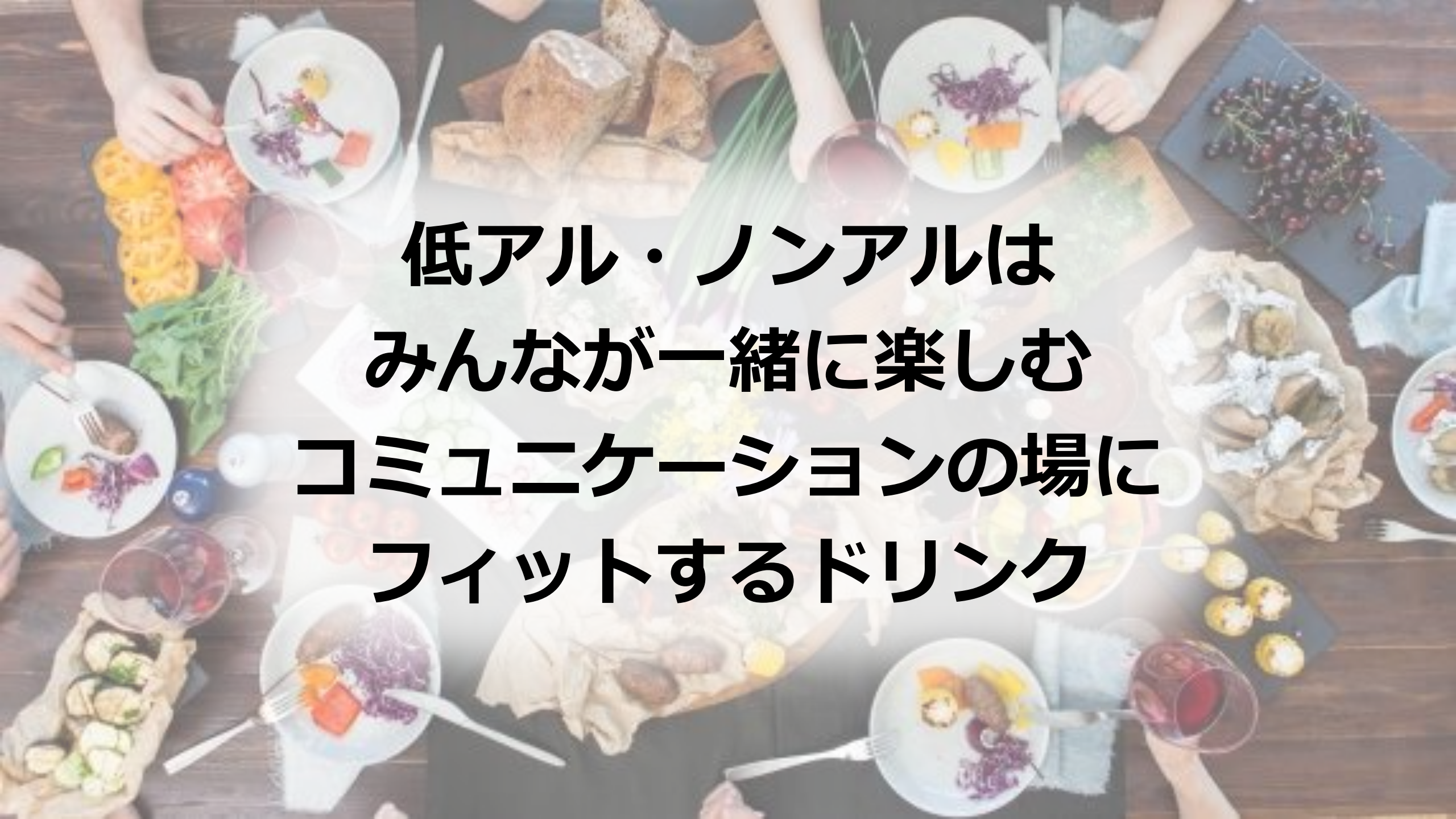
低飲用派

47%

非飲用派

30%





**低アル・ノンアルは  
みんなが一緒に楽しむ  
コミュニケーションの場に  
フィットするドリンク**



低アル・ノンアルの飲用理由（上位抜粋）

深酔い回避、やりたいこと実現、健康志向で飲用されている

	低アル		ノンアル	
アルコール派	深酔いしたくない	30%	運転するため	52%
	仕事や家事ができる	22%	深酔いしたくない	26%
	健康に気を使っている	17%	健康に気を使っている	13%
併用派	健康に気を使っている	24%	健康に気を使っている	32%
	仕事や家事ができる	24%	運転するため	29%
	深酔いしたくない	21%	仕事や家事ができる	24%
低飲用派	甘くなくて飲みやすい	25%	雰囲気を楽しみたい	39%
	雰囲気を楽しみたい	19%	仕事や家事ができる	21%
	健康に気を使っている	15%	健康に気を使っている	14%

# 低アル・ノンアルに期待すること

## 健康を気にしてノンアルを選ぶ



20代のときは何も考えずに飲んでいたが、30代になり健康を考えてノンアルが増えた。



お酒は強いほうだが、胃腸を壊してからはノンアルが増えた。

健康を意識して、ソバーキュリアスでアルコールを抑えている。



飲んでみたらおいしかったし、次の日に残らなかったなので飲むようになった。



# 低アル・ノンアルに期待すること

## 飲んだ後でも、行動できる



ご飯を作る時はノンアル。  
お酒を飲むと動きたくなくな  
って片付けが面倒。



基本はアルコールだが、  
軽い方が次の日が楽。

アルコールはすぐ眠くなって  
家事をしたくなくなる。



飲み会はダラダラしがち  
なので、時間を制限。





# 低アル・ノンアルの期待要素

食事を楽しむ場面

気分を変えたい場面

コミュニケーションの場面

+

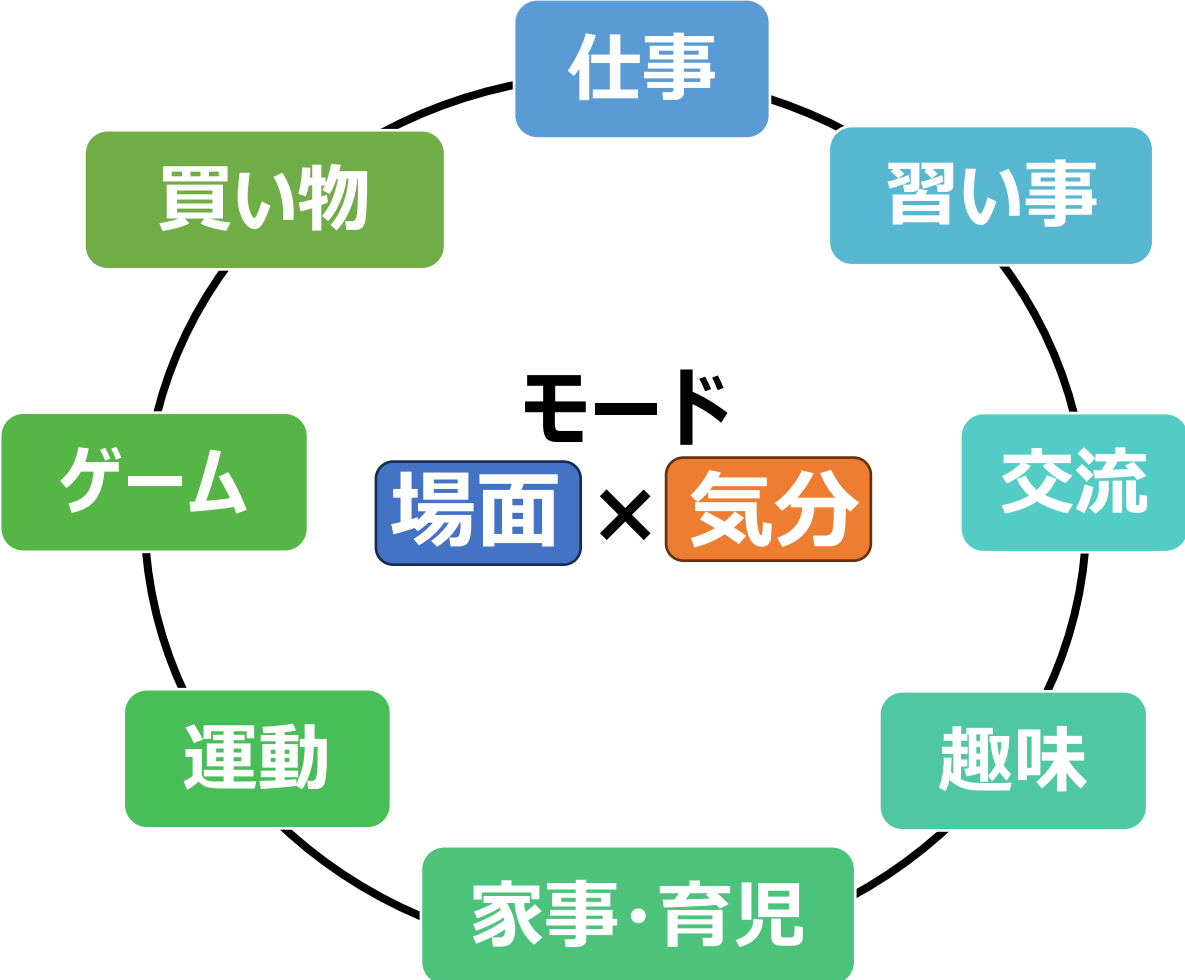
アルコールにはない要素

健康的・体に優しい

飲んでも動ける

飲用場面の広がり

# 暮らしのなかで何度もモードが変わる



気分

- リラックス感
- 落ち着き感
- まったり感
- 高揚感
- 爽快感

「場面」と「気分」を掛け合わせた状態「モード」に着目

# 低アル・ノンアルの新しいニーズ

アルコールの代替ニーズ

モード別ニーズ

# 低アル・ノンアルの新たな市場の可能性

